

こんな本があります

渋谷の文化財建造物を知る本

分類	資料名	編著作者	出版者	出版年
S14	重要文化財 旧朝倉家住宅	渋谷区/編	渋谷区	2021
S14	重要文化財 旧朝倉家住宅 100周年記念誌		渋谷区	2019
S14	重要文化財 旧久瀬宮邸（聖心女子大学）	パンフレット	聖心女子大学	
S14	明治神宮の建築	藤岡 洋保/編	鹿島出版会	2018
S14	明治神宮戦後復興の軌跡	今泉 宣子/編	鹿島出版会	2008
S67	国立競技場 代々木競技場 10年のあゆみ		国立競技場	1974
S67	国立代々木競技場と丹下健三	豊川 斎赫/著	TOTO出版	2021
S67	東京の文化財 130号 国立代々木競技場		東京都教育庁	2019
S67	渋谷の東京オリンピックと丹下健三		白根記念郷土博物館・文学館	2020
S06	温故学会 50年史	温故学会	温故学会	1957
S61	開校 100周年記念誌（広尾小学校）		渋谷区立広尾小学校	2016
S61	図面で見える復興小学校	復興小学校研究会/編	復興小学校研究会	2014
S72	住まいから見た近・現代の渋谷		白根記念郷土博物館・文学館	2007
S14	渋谷区指定文化財 金王八幡神社社殿・門 調査報告書	文化財建造物保存技術協会/編	渋谷区教育委員会	1984
S14	渋谷区指定文化財 金王八幡神社（門） 保存修理工事報告書	文化財建造物保存技術協会/編	金王八幡神社	1990
S71	東京人 no254 聖心女子大学 バレス 旧久瀬宮邸御常御殿 旧朝倉家住宅		都市出版	2008
S71	東京人 no241 東京の由緒ある能楽堂 代々木能舞台		都市出版	2007
S71	東京人 no174 ザ・ミュージアム・オブ 1999 聖心女子大学久瀬バレス		都市出版	2002
S41	渋谷区勢概要 文化財のページで解説 金王八幡宮社殿及び門ほか・香林院茶室・壽稻荷本殿・ 諦聴寺茶室 花雲・清岸寺本堂		渋谷区	

しぶや、あの日 あんなこと そして こんな本

— 渋谷区地域資料通信 12 —

2023年3月15日

編集/発行 渋谷区立中央図書館 株図書館流通センター

渋谷区神宮前 1-4-1 3403-2591

図書館ホームページ>しぶやのページ

https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/?page_id=209

しぶや あの日 あんなことそして こんな本

渋谷区地域資料通信 12

渋谷駅周辺地区では100年に一度といわれる大規模再開発が進んでいます。すでにヒカリエから5棟余りの高層ビルが立ち並びましたが、完了するまでにはまだ数年かかるようです。以前の大規模開発時の象徴だった坂倉準三の手急文化会館をするビルも姿を消して、これからも多くの建造物が建て替わっていき、かつての姿は忘れ去られていくのでしょう。

渋谷の文化財建造物

渋谷区域の約77%を焼き尽くした太平洋戦争時の山の手大空襲などの戦火の中でも、戦前の貴重な建造物が残りましたが、今日までにそのいくつかは移築されたり、取り壊されてしまいました。昭和39年（1964）に開催された東京オリンピックの会場となった区内の建物も次々に建て替わってしまうなか、丹下健三により設計された代々木競技場だけは残り、令和3年（2021）に国の重要文化財に指定されました。

こうした古いものから新しいものまで、区内には右表のような文化財建造物があり、また区外にもゆかりの建造物が移築され、残っています。公開されていないものもありますが、ぶらりと訪れてみるのもいかがでしょうか。

区内文化財建造物一覧

国指定重要文化財

- ① 旧朝倉家住宅（主屋・土蔵）
- ② 明治神宮宝物殿
- ③ 旧久瀬宮邸（聖心女子大学）
（御常御殿/小食堂・正門）
- ④ 明治神宮（本殿・内拝殿・外拝殿など）
- ⑤ 代々木競技場（第一体育館・第二体育館）

国登録有形文化財

- ⑥ 温故学会会館
- ⑦ 渋谷区立広尾小学校
- ⑧ 青山学院ベリーホール・間島記念館
- ⑨ 代々木能舞台敷舞台及び座敷ほか
- ⑩ 上宮寺（本堂・鐘楼ほか）
- ⑪ ミュージアム 1999（旧千葉常五郎邸）

東京都指定文化財

- ⑫ 旧三宅雪嶺邸三宅文庫（非公開）

渋谷区指定文化財

- ⑬ 金王八幡宮社殿及び門ほか
- ⑭ 香林院茶室
- ⑮ 壽稻荷本殿（非公開）
- ⑯ 諦聴寺茶室 花雲（非公開）
- ⑰ 清岸寺本堂

渋谷区から移築された文化財建造物

外交官の家（旧内田定槌邸）南平台→横浜市
旧土岐家住宅洋館 永住→沼田市
日本赤十字社中央病院病棟 宮代→犬山市（明治村）

渋谷の文化財建造物

清岸寺本堂

清岸寺は代々木山谷から移ってきた寺で、現在の本堂のものは明治32年頃に千葉県岩井の今村氏が建てたもので、岩井御殿とよばれていました。

戦災により本堂を失った清岸寺はその岩井御殿を譲り受け、昭和26年（1951）に移築し一部の材を入れ替えて寺院の本堂としたものです。住宅を仏堂に転用し、かつ明治期における高級住宅の様態をうかがえる事例として貴重です。



（幡ヶ谷2-36・平成24年 渋谷区指定文化財）

諦聴寺茶室 花雲（非公開）

花雲は昭和初期につくられた茶室と伝わり、近代の茶の湯文化を牽引した益田孝（鈍翁）と数寄屋師・木村清兵衛（三代目）が共同で作出したものです。入母屋造銅板葺、三畳台目、下座床、水屋及び腰掛待合が付設されています。建築以来3度の移築を経て現在地に落ち着くこととなりました。

（代々木3-26・平成22年 渋谷区指定文化財）

明治神宮宝物殿

明治神宮宝物殿は明治天皇ゆかりの御物を収蔵・展示するための施設として大正10年（1921）に竣工しました。中心建物を高床として校倉造や寝殿造などを基調とした独特の和風意匠でまとめ、わが国の伝統的な建築様式を集めた力強い造形表現を実現しています。

（代々木神園町1・平成23年 国指定重要文化財）

明治神宮（本殿・内拝殿・外拝殿など）

明治神宮は明治天皇と昭憲皇太后を祀る神社として大正9年（1920）に創建されました。戦災で本殿ほかを焼失しましたが、昭和33年（1958）に焼失を免れた社殿を生かしつつ再建されました。

（代々木神園町1・令和2年 国指定重要文化財）

旧三宅雪嶺邸三宅文庫（非公開）

三宅雪嶺邸三宅文庫は明治から昭和にかけて活躍した哲学者、批評家の三宅雪嶺が生前に自身の蔵書を一般公開するために建てた住居兼文庫です。昭和5年（1930）に完成したこの小図書館は、当時においては珍しかったコンクリート造りの建物で、建築家・今井兼次による設計です。

（初台2-27・平成16年 東京都指定文化財）

代々木能舞台敷舞台及び座敷ほか

（代々木4-36・平成21年 国登録有形文化財）

金王八幡宮社殿及び門ほか

金王八幡宮は社記によれば11世紀、源義家が後三年の役凱旋の帰途、この地に八幡宮を勧請したのが始まりといえます。神門と社殿は江戸時代に三代将軍家光の乳母春日局と守役の青山忠俊が寄進したといわれています。その後たびたび修理されましたが、江戸時代前期から中期の建築様式をとどめている貴重な建物です。

（渋谷3-5・昭和51年 渋谷区指定文化財・平成22年附の渡り廊下の追加指定）



壽福荷本殿（非公開）

（渋谷2-12・平成21年 渋谷区指定文化財）

温故学会会館

温故学会会館は塙保己一の残した、重要文化財である『群書類従』の版木を管理・保存する目的で、昭和2年（1927）に竣工しました。RC造2階建て左翼1階を事務所、2階を和風の講堂、右翼各階を収蔵庫としています。

（東2-9・平成12年 国登録有形文化財）



渋谷区立広尾小学校

広尾小学校は大正5年（1916）に渋谷町立広尾尋常小学校として設立されましたが、昭和3年に火災にあい同7年（1932）にRC造3階建て現在地に再建されました。消防所（署）が同居したことから屋上に望楼が設けられています。

（東3-3・平成12年 国登録有形文化財）



旧朝倉家住宅（主屋・土蔵）

朝倉虎治郎は米穀商などで財を成し、東京府議会議長も務めた人です。朝倉家住宅は猿楽町の南西斜面を利用して大正8年（1919）に建設されました。主屋は一部2階建て奥に座敷部や茶室、土蔵が設けられています。また、建物と一体となった庭園が保存され、東京中心部に残る関東大震災以前に遡る数少ない大正期の和風住宅です。

（猿楽町29・平成16年 国指定重要文化財）



上宮寺（本堂・鐘楼ほか）

（広尾5-2・平成29年 国登録有形文化財）

香林院茶室

香林院茶室は、仰木魯堂が自らの茶室として大正8年（1919）に設計施工したものです。魯堂は近代の茶室建築に深く関わった人物で、近代財界人で茶の湯盛行を主導した益田孝（鈍翁）、高橋常庵、原三溪らと深く関わり、茶人としても高い評価を受けていました。

（広尾5-1・平成17年 渋谷区指定文化財）

代々木競技場（第一体育館・第二体育館）

代々木競技場は昭和39年（1964）の東京オリンピックを機に建築され、水泳・バスケットボールなどの会場になりました。吊り構造により屋根及び観客席を支える外観と柱のない壮大な内部空間を創出する、建築家丹下健三の代表作です。前例のない技法、構法によるダイナミックな建築は世界的な評価を受けています。



（神南2-1・令和3年 国指定重要文化財）

青山学院ペリーホール・間島記念館

ペリーホールは昭和6年（1931）に建築され、3階建の北端に平屋建の礼拝堂を設け、これに対称する南端にも平屋が建つ、ゴシックを基調とした厳格な左右対称の建築物です。間島記念館は昭和4年（1929）に図書館として建築され、キャンパス中央に北面する正面2階にはコリント式円柱を並べローマ神殿を模しています。

（渋谷4-22・平成20年 国登録有形文化財）



ミュージアム1999（旧千葉常五郎邸）

ミュージアム1999は昭和9年（1934）に、たばこで財を成した千葉直五郎が息子常五郎の結婚祝いに建設したといわれ、チューダー様式の外観は特徴的な円錐形の尖塔を持ち、ヨーロッパの古城を思わせます。

（渋谷4-2・平成30年 国登録有形文化財）



旧久邇宮邸（聖心女子大学） （御常御殿/小食堂・正門ほか）

旧久邇宮邸は久邇宮家2代邦彦王が営んだ本邸で、パレスとよばれる御常御殿は大正13年（1924）に日常生活の場として入母屋造り一部切り妻造りで建築されました。戦災等で一部焼失しましたが、和風基調で建築された宮家本邸の唯一の現存例です。正門は大正7年に宮邸正門として竣工し、現在は聖心女子大学の正門です。

（広尾4-1・平成29年 国指定重要文化財）

